

コンビニで健康意識向上

ヘルシーセットやパネルで啓発

区立台東病院

区立台東病院(台東区千束3、山田隆司院長)で、院内のコンビニで弁当や飲料水などの棚にカローリーや塩分を表示したパネルなどを設置したところ「健康を意識しながら買い物ができる」と職員や来院者に好評だ。取り組みは、昨年11月、厚生労働省などが主催する「健康寿命をのばそうーアワード」で同省健康局長優良賞も受賞し、注目されている。

【中根正義】

物をそろえたミニ・ライブラリーも設置されている。

商品のエネルギーや塩分の表示は昨年4月から始めた。塩分は分量ごとに商品を並べ、食塩を小袋に入れ、視覚的に分かるようにした。高齢者向けに、栄養不足などで心身が衰えるフレイル予防の説明パネルを設けたり、予防のために肉、魚、卵、野菜など10の食品

院内のコンビニは約100平方メートル。弁当やカップめん、飲料水のほか、介護用品や生活雑貨などが販売されている。イトイン・スペースや健康関連の書

を提示したチェックカードを作成したりして陳列棚に置いた。また、出店しているローソンの協力で、弁当とサラダ、ヨーグルトなどを組み合わせた「ヘルシーセット」を日替わりで提供し、値段も通常より50〜100円程度割り引いて販売している。

昨年9月、利用者に調査したところ、表示に気付いた人の34%がエネルギー量の少ないものにしたがり、飲み物を野菜ジュースに変え

たりしていた。また掲示された健康情報に関しては89%が役に立つと回答し「塩分が気になるので、その量が分かり参考になる」「お得なワンコインセットなどもあり、自らの健康を考えるきっかけになった」など好意的な意見が寄せられた。

企画した公益社団法人地域医療振興協会へルスパロモーション研究センターの川畑輝子研究員は「病院内のコンビニとして、職員や地域住民の啓発に役立っていることが分かった。さらに発展させ、健康増進につなげたい」と意気込む。



①カップめんの陳列棚。塩分量によって商品が陳列されているだけでなく、減塩に関する説明などもパネルで掲示されている②ローソン店内のヘルシーセットの掲示＝いずれも台東区立台東病院で